



学部長挨拶

科学技術者を目指す皆さんへ

科学技術は日進月歩で発展を続けています。慶應義塾大学理工学部は11学科で構成され、それぞれの専門分野において最先端研究を行っています。一方、入学段階では学科による専門分野の選択はせず、学門という広い枠組みの入口から理工学の世界に入る方式をとっています。そして、科学技術者としての基礎となる数学、物理学、化学、生物学、科学実験、プログラミング、語学、総合教育科目(人文科学・社会科学)などの科目を学ぶとともに、それぞれの学科や専門分野の特徴に関する知識を増やした後、皆さんは自分の興味と適性を自分自身で判断して、2年進級時に学科の選択をします。

科学技術が高度化するとともに専門分野の細分化がどんどん進んでいます。科学技術が社会に大きな影響を与える現代では、単に自らの専門分野を究めるだけでなく、世界中の他分野の人とネットワークを構築する能力や幅広い視野で物事をとらえる能力が重要となります。理工学部には、日本語と英語で時事問題や学術について議論するグローバルリーダーシップセミナー(GLS)や、短期留学、派遣交換留学、ダブルディグリープログラムなど多くの国際交流プログラムがあり、国際的な観点から物事を

とらえる機会を提供しています。また、学部3年生以上が履修する総合教育科目を設置し、理工学の知識を身につけた段階で改めて科学技術者の道徳観や倫理観について考える機会を提供しています。理工学部の1・2年生は他学部の学生とともに日吉キャンパス、3・4年生と大学院生は隣接する矢上キャンパスに通います。この特徴を生かし、日吉キャンパスでは他学部の学生とともに授業を受けることができる科目も設置されています。また、日吉キャンパスは各種課外活動の拠点でもあり、学術・国際交流・芸術・スポーツに接する環境が整ったキャンパスで学生生活を過ごすことができます。

これらの理工学部の教育に関する考え方は、慶應義塾の基本精神である「独立自尊」という言葉に集約され、科学技術に対する高度な能力を有するだけでなく、自分自身で考えて正しい判断ができ、自己と他人の尊厳を守って行動できる科学技術者の育成を目指しています。我々は、大学が理想を追求する場であるととらえ、皆さんが、生涯にわたって活躍の場を広げ続けることができる実力と交友関係を身につけるための環境を提供してゆきたいと考えています。

慶應義塾大学 理工学部長
岡田 英史

新しい学門制

2020年度入学者から学門制が変更となり、各学門から進学できる学科が変わります。また、従来の「電子工学科」は「電気情報工学科」に名称を変更する予定です。*

従来の学門制				
学門 1	学門 2	学門 3	学門 4	学門 5
物理学科 物理情報工学科 電子工学科 機械工学科	数理科学科 管理工学科 情報工学科	化学科 応用化学科 生命情報学科 物理情報工学科	機械工学科 システムデザイン工学科 応用化学科 管理工学科	情報工学科 電子工学科 システムデザイン工学科 生命情報学科

2020年度入学者から

新しい学門制				
学門 A	学門 B	学門 C	学門 D	学門 E
物理・電気・ 機械分野	電気・情報分野	情報・数学・ データサイエンス 分野	機械・ システム分野	化学・生命分野
物理学科 物理情報工学科 電気情報工学科 機械工学科	電気情報工学科 情報工学科 物理情報工学科 システムデザイン 工学科	情報工学科 数理科学科 管理工学科 生命情報学科	機械工学科 システムデザイン 工学科 管理工学科	化学科 応用化学科 生命情報学科

2020年度入学者から、各学科で約5名まで「学門を越えた学科配属」(学門越え)が認められます。配属は学生の希望に基づき、1年次の成績と書類審査により決定します。

*学科名称の変更については文部科学省へ申請中